

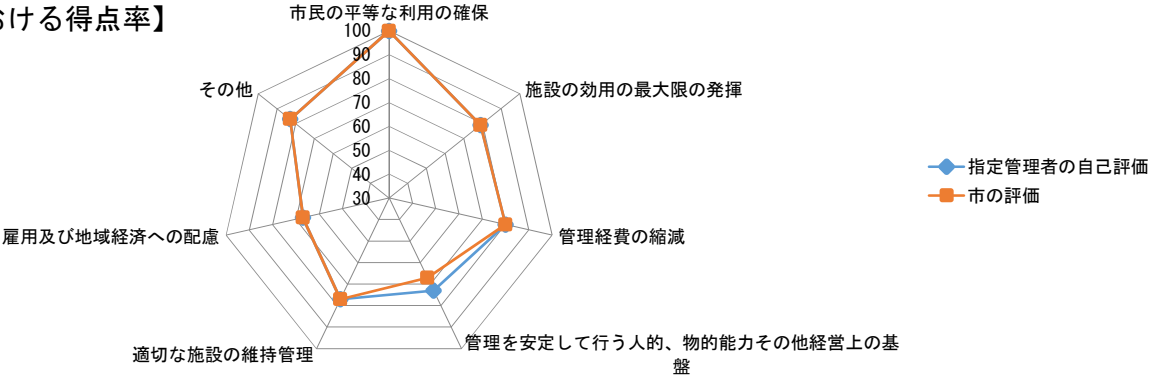
令和元（2019）年度 指定管理者制度導入施設 管理運営評価結果書

施設名称		郡山市緑豊園		施設区分		事業実施型			
施設所在地		郡山市日和田町八丁目字堰山1番地		指定管理者		社会福祉法人郡山市社会福祉事業団			
指定期間		平成31年4月1日～令和6年3月31日		施設所管部課		保健福祉部障がい福祉課			
評価項目		評価基準		配点	指定管理者自己評価	自己評価コメント	市評価	市評価コメント	特記事項
Ⅰ 市民の平等な利用の確保									
1	平等利用	市民の利用にあたり、公平であるか。 （例：使用許可、使用料等の減免、利用の制限等）	2	2	利用者からの苦情はない	2	年間を通じて苦情はなかった		
2	危機管理、事故・災害等への対策・対応	事故・災害発生時又は危険予測時の対策・対応が行われているか。（例：マニュアル整備、訓練等）	2	2	訓練を予定回数実施	2	計画された回数の訓練を実施している		
小計			4	4		4			
Ⅱ 施設の効用の最大限の発揮									
3	管理運営方針	市が示している管理運営方針及び仕様書に合致した、施設の管理運営がなされているか。	4	3	仕様書の水準どおり	3	要求される管理運営方針を理解し、仕様書に沿った管理運営がなされている		
4	事業実施状況	計画どおり事業が実施されているか。 サービス向上の取り組みがなされているか。	10	6	農福連携事業の実施等、サービスの向上が図られている。	6	施設の特徴である農業に力を入れ、販売会や農福連携事業などサービスの質の向上に努めている		
5	広報・PRの実施	利用促進のための取組みを実施しているか。 （例：事業の開催案内、ホームページの管理 等）	4	4	新たに広報誌の発行を行った。	4	広報誌発行の他、見学や実習を積極的に受け入れ、新規利用者の確保に努めている		
6	接客態度	言葉づかい、態度、電話対応、名札、服装等は適切か。	4	3	研修会等に参加	3	作業内容に適した服装で勤務し、利用者への対応も問題ない		
7	苦情・要望の把握・対応	利用者からの意見、苦情を受けて、迅速に対応できているか。（記録簿整備を含む。） 特に重要な事案については、遅滞なく市へ報告しているか。	4	4	苦情なし	4	年間を通じて苦情はなかった		
8	市、関係機関、類似施設、地元等との連携	市、他の指定管理者、関係機関、類似施設、周辺施設、地元等との連携を図っているか。 （例：施設間の回遊・相互利用、地元とのタイアップ、積極性 等）	4	4	積極的な実習、体験等の受け入れの実施	4	支援学校や他事業所からの実習・利用体験受け入れの他、農福連携により地域と繋がりを深めた。		
9	利用者アンケートへの対応状況	利用者アンケートによる指摘のうち、改善すべき事項について対応を図っているか。	3	2	要望を計画的に更新	2	対応可能な要望について順次対応している		
小計			33	26		26			
Ⅲ 管理経費の縮減									
10	帳簿管理・経理	帳簿等は適正に管理されているか。 契約にあたり、適正な経費算定（精算）が行われたか。業務委託や修繕について適正な監督、検収が行われたか。	5	5	適正に管理されている。	5	帳簿や台帳は不備なく管理されており、業務委託や修繕にかかる契約手順等も問題ない		
11	収入確保、支出の適正化等、予算の執行状況	収入確保の取組みを推進しているか。 指定管理料を含め、支出が適正に行われたか。	5	3	利用料金収入の増加に努めている。	3	新規利用者の獲得や施設外就労加算の算定等、収入確保の努力を行っている		
小計			10	8		8			
Ⅳ 管理を安定して行う人的、物的能力その他経営上の基盤									
12	人員・研修体制	人員の配置、勤務実績、労働環境等は適切か。 必要な資格、経験等を有する人員が確保されているか。職員に対し研修を実施しているか。	5	3	適正な職員配置で、業務も要求水準どおりの成果	3	毎月必ず職員会議を実施し、情報共有と意思統一を図っている		
13	収支状況	収支予算書どおりの収支状況となっているか。	5	4	収入は僅かに減じたが、収支を大幅に向上させた。	4	新規利用者の獲得や施設外就労加算の算定等により、収支向上の努力を行っている		
14	連絡調整	協定書等に従い、市への各種届出、報告、提出、協議、相談等を適切に行っているか。 市や地域、関係機関との連携調整を適切に行っているか。	5	4	適切に行っている。	3	事前確認のない軽微な修繕があったが、その他の届出や報告、提出は遅滞なく行われている。		
小計			15	11		10			
Ⅴ 適切な施設の維持管理									
15	施設・設備の保守管理	法定点検が確実に行われているか。 施設・設備が適切に利用できるような状態が保持されているか。（修繕を含む。）	10	8	事前報告も含めて計画的に行っている。	8	法定点検及び仕様書で委託した保守管理について、適切に実施されている		
16	安全の確保	建物・設備等が安全に利用できるような状態が保持されているか。	4	3	指定申請時の水準どおり	3	適切な設備管理を行い、施設内を整頓して安全に利用できる状態を維持している		
17	清掃・衛生・美観維持	利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか。 市の指定管理施設にふさわしくないチラシやパンフレットの陳列、ポスター掲示等はないか。	4	3	清掃の徹底、設備点検の実施	3	年に一度利用者も参加の施設全体清掃を行うなど、衛生意識を高めている		
18	備品の管理	備品が適切に管理されているか。	2	2	備品台帳にて適正に管理	2	備品台帳を整備し、チェックを適切に行っている		
19	持ち込み物品等の管理	持ち込み物品等が適切に管理されているか。 （例：持ち込み物品等管理簿、表示 等）	2	2	持ち込み物品台帳にて管理	2	持ち込み備品台帳を整備し、適切にチェックを行っている		
20	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告、手続き等を行っているか。	2	1	仕様書の水準どおり	1	関係法令に定める点検や、事業に関する報告等を適切に行っている		
21	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されているか。 個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じているか。	2	1	仕様書の水準どおり	1	個人情報にかかる簿冊などは保管形態を統一し、データの取扱には十分な配慮をしている		
小計			26	20		20			
Ⅵ 雇用及び地域経済への配慮									
22	雇用・労働条件への配慮	労働基準法等の労働関係法令、郡山市公契約条例等の順守がなされているか。 労働条件への配慮は十分か。	3	2	仕様書の水準どおり	2	休暇や健康診断等、法令等で定める水準の労働条件水準を満たしている		
23	地域経済への配慮	計画通りに市内からの職員採用を行っているか。 再委託は計画通り適正に行われているか。 市内事業者への再委託を行っているか。	3	2	仕様書の水準どおり	2	職員は全員市内から採用し、再委託先も全て市内業者である		
小計			6	4		4			
Ⅶ その他									
24	活動指標	設定した指標の目標値（開館日、249日）を達成しているか。	2	2	指定申請時の水準どおり	2	協定締結時に設定した活動指標を達成している		
25	成果指標	設定した指標の目標値（施設利用者数、7,470人）を達成しているか。	2	1	入院や複数の障害福祉サービス施設利用等による欠席者が多かったため目標値に到達しなかった。	1	協定締結時に設定した成果指標を概ね達成している		
26	指定管理業務への姿勢	積極的な管理運営、市に協力的であるか 地域や民間事業者と円滑な関係を構築しているか	2	2	積極的な管理運営ができている。	2	施設の特徴である農業に力を入れ、特に農福連携分野で積極的に活動している		
小計			6	5		5			
合 計 点			100	78		77			

	実績					
	令和元（2019）年度	令和2（2020）年度	令和3（2021）年度	令和4（2022）年度	令和5（2023）年度	合計
指定管理料（千円）	10,957					10,957
利用料金収入（千円）	50,756					50,756
利用者数（人）	7,210					7,210
二次評価 （市の評価）	B ⁺					
備考						

サービス向上対策	
4月～花見会の実施（逢瀬公園）	5月～福島県障がい者総合体育大会参加
6月～土曜登園（平成こどものもり公園）	7月～土曜登園（ウォーキング）
8月～土曜登園（福島空港見学・かき氷）	9月～日帰り旅行の実施
10月～土曜登園（いも煮会）	11月～郡山消防署見学
12月～クリスマス会	
1月～新年会	2月～ボウリング大会
3月～土曜登園（梅ロード）	利用者自治会の開催
血圧測定	体重測定
誕生会	連絡帳の有効活用
施設外就労の実施	他

【各評価区分における得点率】



【一次評価（指定管理者による自己評価）】

評価	点数	評価内容
B ⁺	78	【総合評価（評価できる点等）】 ・利用者主体の支援をし、ニーズに合わせたサービスを提供している。 ・賃金向上のため、施設外就労等の取り組みをしている。（農福連携） ・生産活動を通して知識及び能力が向上できるよう支援している。 ・地域社会と連携し、社会経験を豊かにするための支援をしている。 【次年度に向けて改善が必要な点】 ・作業種を増やし、賃金向上を目指す。 ・利用者数を増加を目指し、利用率を上げる。

【二次評価（市による評価）】

評価	点数	評価内容
B ⁺	77	【総合評価（評価できる点等）】 ・新たに施設外就労を開始し、加算算定による収入増加のほか、販売会や農福連携事業への積極的な参加など、サービスの質及び賃金の向上に繋がる取組を実施している。 ・利用者の特性に応じて作業班を分け、丁寧な情報共有と適切な支援により個々の能力向上に努めている。 ・農福連携事業により農業を営む地域住民と繋がり、地域貢献とともに利用者の体験を増やすことに成功している。 【次年度に向けて改善を望む点】 ・軽微な修繕も事前に市に確認し、市との情報共有を徹底する。 ・施設外就労を継続するとともに、作業種を増やして賃金向上に努める。

【改善のための行動計画】

行動計画
【前年度の指摘事項】
【改善対応状況】